

令和 6 年度

土 地 改 良 事 業 変 更 計 画 書

事 業 名	農地耕作条件改善事業
地 区 名	大上地区
所 在 地	三豊市高瀬町下勝間 2 3 7 3 番地 1
事 業 主 体	三豊市山本町土地改良区

第1章 目 的

当地区は、三豊市の西部に位置し、標高26～31mで、地区の周辺は、農地・山林・ため池等に囲まれた緑豊かな地域である。

古くから水稻及び野菜が主要農作物の農業の盛んな地域であるが圃場条件が悪く、農道、用排水路は未整備で、営農に多大な労力を費やしている。区画の整形を行い、農道、水路を一体的に整備し、農業生産性の向上、農業経営の安定を図る。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

事 業 名	地 域
農地耕作条件改善事業	香川県三豊市山本町大野の一部

第2節 地 積

(令和2年 3月現在)

事 業 名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町名							
農地耕作条件 改善事業	三豊市山本町	8.7	0.1	—	—	1.1	9.9	
	計	8.7	0.1	—	—	1.1	9.9	

第3章 現 況

第1節 気 象

観測所名	多度津气象台	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
	S56年～H22年	6月～9月	10月～5月		
平 均 気 温 (℃)		25.4	11.7	年平均 16.2℃	
降 水 量		520 mm	549 mm	1068.4 mm	
無 霜 期 間	4 月 1 日 ～ 11 月 24 日 238 日間				高松气象台より
最 多 風 向		北	西北西	西北西	

第2節 土地状況

1 地形・地質・土壌

本地区は、三豊市の西部に位置する。標高は26～31mの地域である。

地質は沖積層からなり、土質は灰色低地土壌である。

2 土地利用の状況

事業名	土地利用別 市町名	耕 地						採 草 放 牧 地	原 野	山 林	そ の 他	計	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ 樹 の 園 他 の 地 (ha)						
農地耕作条件 改善事業	三豊市山本町	8.7	0.1	-	-	-	-	-	-	-	1.1	9.9	
合 計		8.7	0.1	-	-	-	-	-	-	-	1.1	9.9	

第3節 水利状況

1 用 水 状 況

本地区の用水路はコンクリート水路及び土水路であり、老朽化により配水に多大なロスと労力を要する状況である

2 排 水 状 況

本地区の排水は用排水兼用部分もあり、又コンクリート及び土水路ではあるが老朽しているため排水が十分とはいえない状況である。

第4節 道路概況

1 道 路 概 況

本地区の農道は幅員狭小と未整備なため、通作に支障があり耕作に多大な労力を要している。

第5節 地域農業の概況

本地区の営農状況は水稻及び野菜が主要農産物であり、1戸当たりの平均耕作面積は20aと零細な規模であり、第2種兼業農家である。

第6節 地域環境の概況

三豊市の西部（旧山本町）に位置し、標高26～31mの地域である。地区の周辺は、農地・山林・ため池等に囲まれた緑豊かな自然にめぐまれた地域である。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

- 1 要 旨 本事業により区画整理を実施し、道水路を併せて一体的に整備し、大型機械の導入を容易にし農作業の省力化と農業生産性の向上を図り、用排水路を整備し農地の汎用化を図り、農業総生産の拡大及び農業経営の合理化に寄与する。

2 事業別面積

事業名 土地利用区分 事業目的	農地耕作条件改善事業												計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	そ の 他 (ha)						小 計 (ha)	
区画整理	8.7	0.1	-	-	-	-	1.1						9.9	9.9
計	8.7	0.1	-	-	-	-	1.1						9.9	9.9

第2節 営農計画及び土地利用計画

- 1 営農計画の概要 区画整理の実施により農地の汎用化を図り、水稻・麦はもとより、地域の特性を生かした高付加価値・高収益作物の作付を推進し、農業経営の改善に寄与する。

2 土地利用区分

事業名	土地利用区分	水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他 (ha)	小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	区 分												
農地耕作条件改善事業	現 況	8.7	0.1	-	-	-	-	8.8	-	-	1.1	9.9	
	計 画	7.5	0.0	-	-	-	-	7.5	-	-	2.4	9.9	

第3節 道路計画

1 道路

項 目 路 線 名	幅 (有効) × 延 長 (m) (m)	構 造	既設道路との関係	備 考
1 ～ 1 1 号、 1 3 号道路	(4.0 (3.0) × 2,006) 4.0 (3.0) × 2,087	砂利舗装	新設	13号道路は市単費で施工予定
1 2 号道路	3.0 (2.0) × 81	砂利舗装	新設	
1 ～ 4 号取合道路	(4.0 (3.0) × 144) 4.0 (3.0) × 143	砂利舗装	新設	
計	(2,150) 2,311			

第4節 農用地整備計画

1 区画整理

(1) 区画の形状

長辺 × 短辺 (m)	区 画 面 積 (ha)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 面 差 (m)	備 考
75 × 40	7.5	9.90	75.7%	4.1	
計		9.90	75.7%		

(2) 表土扱い

面 積	表土扱い要否の理由	扱 い 深	土 量	備 考
h a 7.1	作土の地力、換地等に対する農家の意向	cm 15.0	m ³ 10650.0	

作付面積A=7.5*95%=7.1 平均地形勾配1/150

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 用水路

項 目 名 称	かんがい面積 (ha)			通水量 (原/ s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	管水路				
	地区内	地区外	計								
1～5号用水路	0.20	33.60	33.80	0.0851	(870) 868	—	—	二次製品フリューム	1/300	(SF400～600) SF400～1200	
パイプライン	7.30	—	7.30	0.0370	—	—	(1443) 1440	塩ビ管	1/150	(VUφ125～200mm) VUφ100～200mm	
計	7.50	—	41.10	0.1221	(870) 868	—	(1443) 1440				

第2節 排水施設

1 排水路

項目 水路名	流域面積 (ha)			排水量 (原/ s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計				
	地区内	地区外	計								
1～6号排水路	9. 90	12. 60	22. 50	0. 365	(2211) 2150		(2211) 2150	二次製品フリューム	1/300	SF300～500	
計	9. 90	12. 60	22. 50	0. 365	(2211) 2150		(2211) 2150				

第3節 道路及び索道

1 道 路

項 目 路線数	路 線 名	幅(有効)×延長 (m) (m)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 こう配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
	1～11号、13号道路 1～4号取合道路	(4.0(3.0)×2,150) 4.0(3.0)×2,230	砂利舗装	—	—	—	1.7	46	—	13号道路は市 単費で施工予 定
	12号道路	3.0(2.0)×81	砂利舗装	—	—	—	0.72	81	—	
	計	(2,150) 2,311								

第4節 農用地整備施設

1 区 画 整 理

工 区 名	面 積 (ha)	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
			標準区画	土 量 (原)	面 積 (ha)	土 量 (原)	
—	7.5	—	75×40	—	7.1	10,650	

2 暗 渠 排 水

工 区 名	面 積 (ha)	吸 水 渠		集 水 渠		そ の 他	備 考
		延 長 (m)	構 造	延 長 (m)	構 造		
—	(3.6) 1.6	(2,590) 1,277	土管	(510) 227	塩ビ管	—	

第6章 付帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手予定 令和 2 年度

完了予定 令和 8年度

第8章 環境との調和への配慮

「三豊市総合計画」・「田園環境整備マスタープラン」に基づき、水環境や自然の生態系を保全しつつ、ほ場整備を計画的に実施し、優良農地の確保並びに農地の持つ保水能力や自然環境を維持する緑地の保全に努める。

また、農村地域の生活環境の改善とため池や農業用排水路の水質保全に努める。

- ・農業生産基盤の整備と自然環境の保全、自然と共生する環境創造。
- ・水と緑を活かしたうるおいのある生活空間の創造。

①近隣住宅地への、騒音、塵芥等の防止

②土砂、泥水等の流出防止

③土砂搬入車両の付着土砂等による公道乗り入れ注意

④排水等は、水辺の自然環境生物の生息環境をくずさぬよう及び農村地域の生活環境の改善と公共用水域の水質保全に努める。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

換地計画樹立のための基準を事業実施前に作成し、事業実施後における換地計画の樹立及び換地処分の実施を適正かつ円滑にならしめ、換地計画により農地の集団化を図り、地域農業の振興、農業経営の合理化等、地域の活性化に資するものとする。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
全区	三豊市山本町大野	9.9

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

換地区名	地積の基準
全区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画認可の日の登記簿地積とする。ただし、左記の日から1ヶ月以内に測量士又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合には、その申し出があった地積とする。（国土調査法による地籍調査済。）

2. 用途別予定地積

換地区名 用途 (取得予定者) 前後		非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計	
		田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行 地域に含める 土地(令第1条 条の4()書き)			計	本事業によつて生ずる土地 改良施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特 定 用 途 用 地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計	国	県	市 町 他			合 計
						土 地 改 良 設	そ の 他	小 計		改 良 区 他	そ の 計	宅 地			そ の 計	農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上 の 用 地		必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 地	施 設 用 地 等	計								
全 区	従前の土地	8.7	0.1	—	—	—	—	—	8.8	—	—	—	—	8.8	0.4	0.0	0.4	0.0	—	—	—	—	—	0.4	—	—	0.7	0.7	—	9.9
	換 地	7.5	0.0	—	—	—	—	—	7.5	0.7	—	0.7	—	8.2	0.4	0.0	0.4	—	—	—	—	—	0.4	—	—	1.3	1.3	—	9.9	

3. 農用地集団化の方針

換地区名	区 分 地帯別、グループ 別団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区 画 畦 畔 の 取 扱 い
全 区	該 当 な し	換地は、各人の 従前の土地が最も 密集した位置を中 心に定める。	1戸当たりの団地 数はおおむね1団地 を目標とする。	畦畔は、移動畦畔とする。 畦畔は、配分面積に応じて移動して定めるものとする。 配分区画の設定に当たり、短辺が5 m以下となるような設定は しない。

4. 非農用地換地の方法

区 分 換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略	面 積 (㎡)	換 地 の 手 法	換地取得予定者	そ の 他
全 区	宅 地	おおむね従前どおり	1,180	特定用途用地換地	■■■■■■■■■■	
	宅 地	おおむね従前どおり	1,086	特定用途用地換地	■■■■■■■■■■	
	宅 地	おおむね従前どおり	920	特定用途用地換地	■■■■■■■■■■	
	宅 地	おおむね従前どおり	318	特定用途用地換地	■■■■■■■■■■	
	宅 地	おおむね従前どおり	188	特定用途用地換地	■■■■■■■■■■	
	宅 地	三豊市山本町大野字上岡	202	異種目換地	■■■■■■■■■■	
	宅 地	おおむね従前どおり	235	特定用途用地換地	■■■■■■■■■■	
	宅 地	三豊市山本町大野字高道	80	異種目換地	■■■■■■■■■■	
	境内地	三豊市山本町大野字下山下	156	特定用途用地換地	■■■■■■■■■■	

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 標準地よりの増減点方式
2. 清算の方法 比例地積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

区 分 換地区名	一時利用地の指定 予 定 年 度	換 地 計 画 の 決 定 予 定 年 度	換 地 処 分 予 定 年 度	備 考
全 区	令和2年度～7年度	令和8年度	令和8年度	

第6節 換地処分の特則

区画整理工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第54条第2項本文の規定にかかわらず換地処分を行うものとする。

第 1 0 章 事業費の総額及び内訳

区 分 \ 事 業 名	農地耕作条件改善事業 (千円)	備 考	
本工事費	(151,000)		
	218, 000		
実施計画策定	(3,000)		
	3, 000		
用地費及び補償費	(6,000)		
	2, 000		
測量試験費	(18,000)		
	17, 000		
換地事業費	(22,000)		
	23, 000	換地事業費 確定測量費	
合 計	(200,000)	10 a 当たり負担額	(2, 020) 千円
	263, 000		2, 656 千円

第 1 1 章 効 用

事業名	区 分 項 目	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	現況年総農業所得額 (千円)	備考
農業 基盤 整備 促進 事業	作物生産効果	7,288	18,818		
	営農労力節減効果	8,647	8,647		
	維持管理節減効果	260	260		
	計	16,195	27,725	11,911	

第 1 2 章 関連する事業

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
	該当なし			

第 1 3 章 施設管理

1 施 設 管 理 者 三豊市山本町土地改良区

第 1 4 章 現況・計画図面

1 現 況 平 面 図 別 紙 添 付

2 計画平面図及び土地利用計画図 別 紙 添 付

3 主 要 構 造 図 別 紙 添 付

農 地 耕 作 条 件 改 善 事 業

大 上 地 区

經 濟 効 果 測 定 總 括 表

(1)総費用総便益比及び所得償還率の総括

(第1表)
(単位:千円)

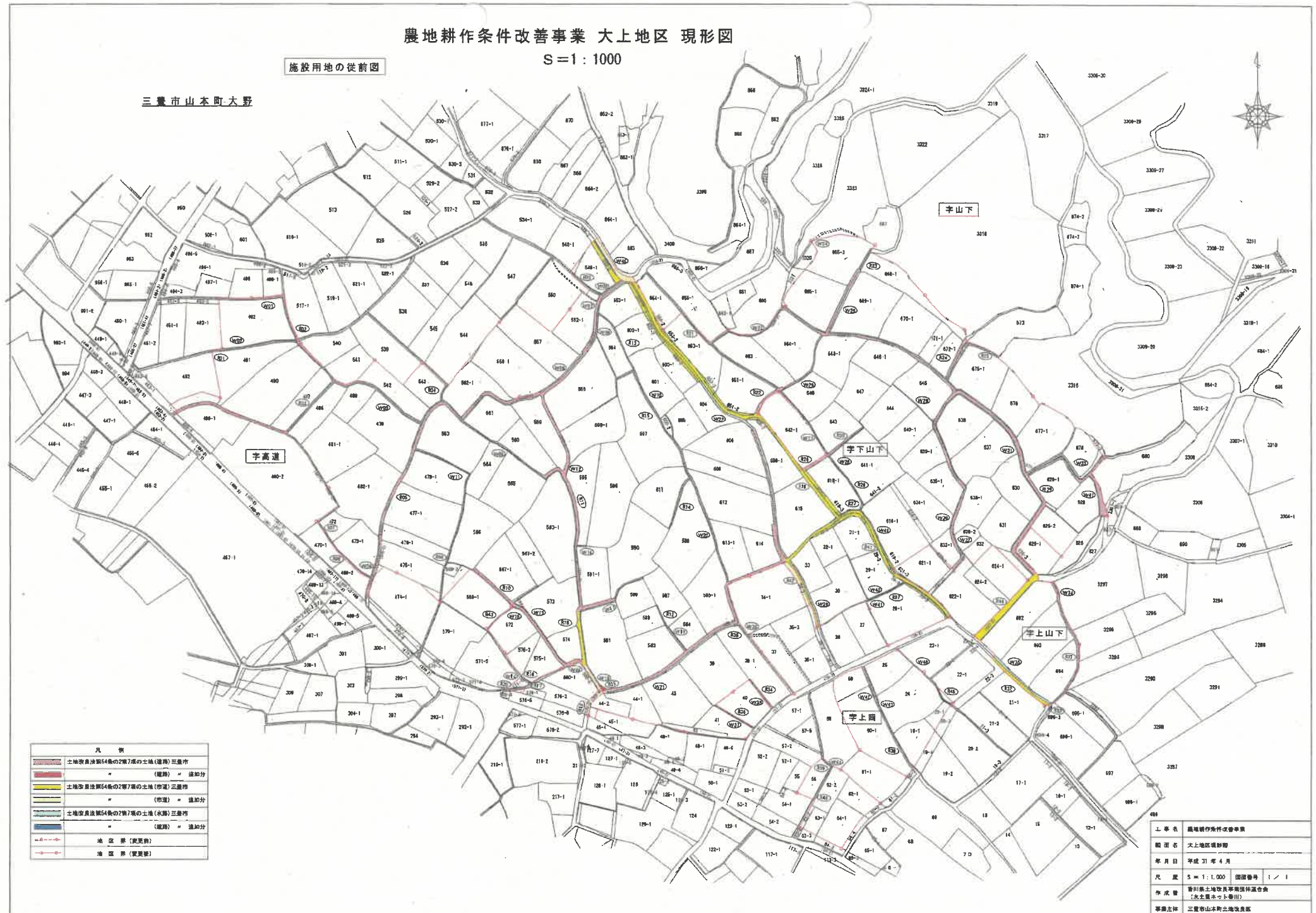
区 分	算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)	③=①+②	268,059	
当該事業による費用	①	218,500	
その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)	②	49,559	
年償還額	④	1,747	
年総効果(便益)額	⑤	16,195	✓
現況年総農業所得額	⑥	11,911	
年増加農業所得額	⑦	27,725	✓
評価期間(当該事業の工事期間+40年)		46	
割引率		0.04	
総便益額(現在価値化)	⑧	290,788	
総費用総便益比	⑨=⑧÷③	1.08	≥1.0
総所得償還率	⑩=④÷⑥	0.15	≤0.2
増加所得償還率	⑪=④÷⑦	0.06	≤0.2

農地耕作条件改善事業 大上地区 現形図

S=1:1000

施設用地の従前図

三豊市山本町大野

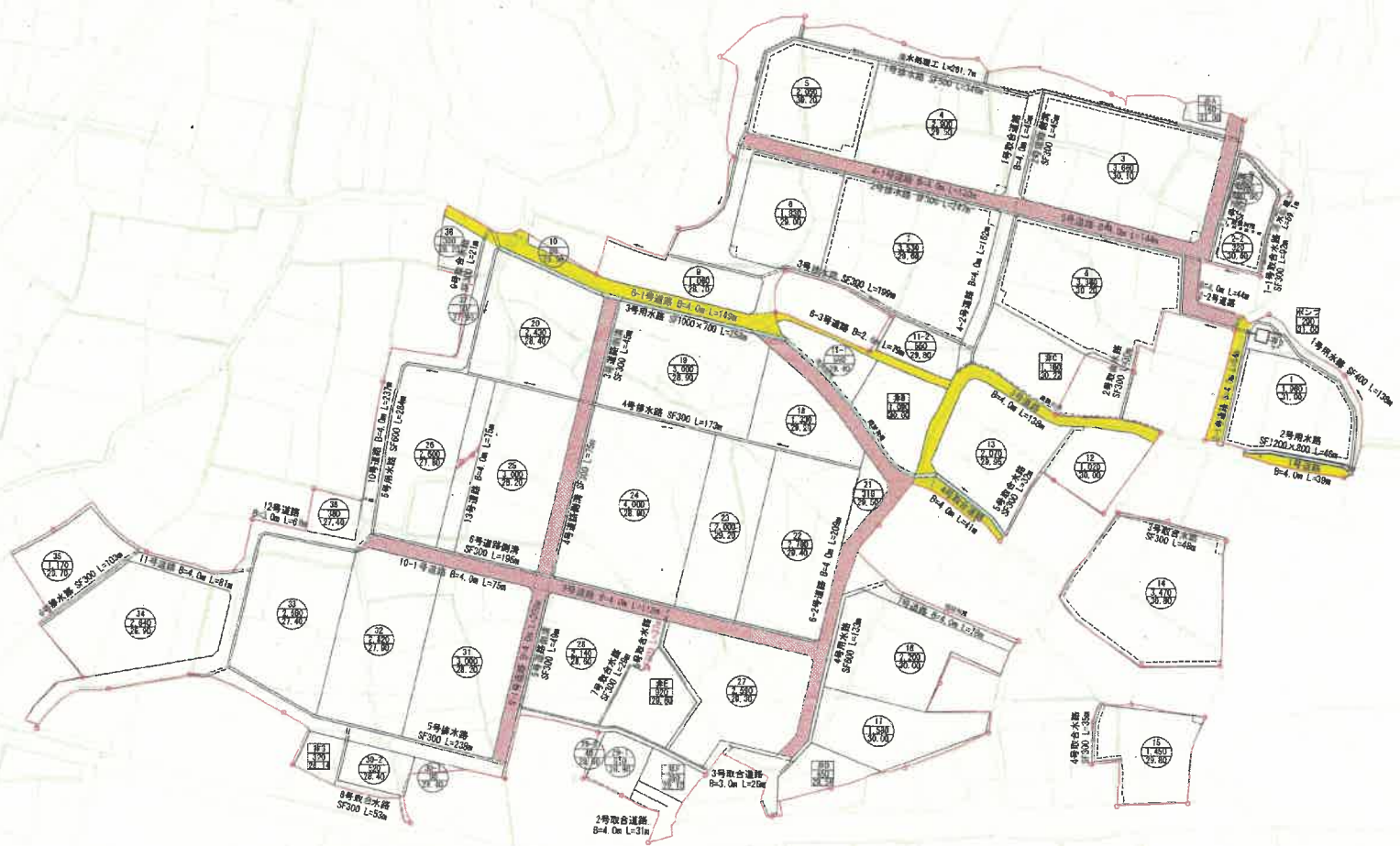


凡 例	
 	土地改良法第54条の2第7項の土地(灌漑)三豊市
 	" (灌漑) " 追加分
 	土地改良法第54条の2第7項の土地(砂道)三豊市
 	" (砂道) " 追加分
 	土地改良法第54条の2第7項の土地(水路)三豊市
 	" (水路) " 追加分
 	地 区 界(変更前)
 	地 区 界(変更後)

工 事 名	農地耕作条件改善事業
施 工 名	大上地区復旧事業
年 月 日	平成 31 年 4 月
尺 度	S = 1 : 1,000 図面番号 1 / 1
作 成 者	豊田県土地改良事業推進委員会 (大上地区土木事務所)
事業主体	三豊市山本町土地改良区

計画平面図

S=1:1,000



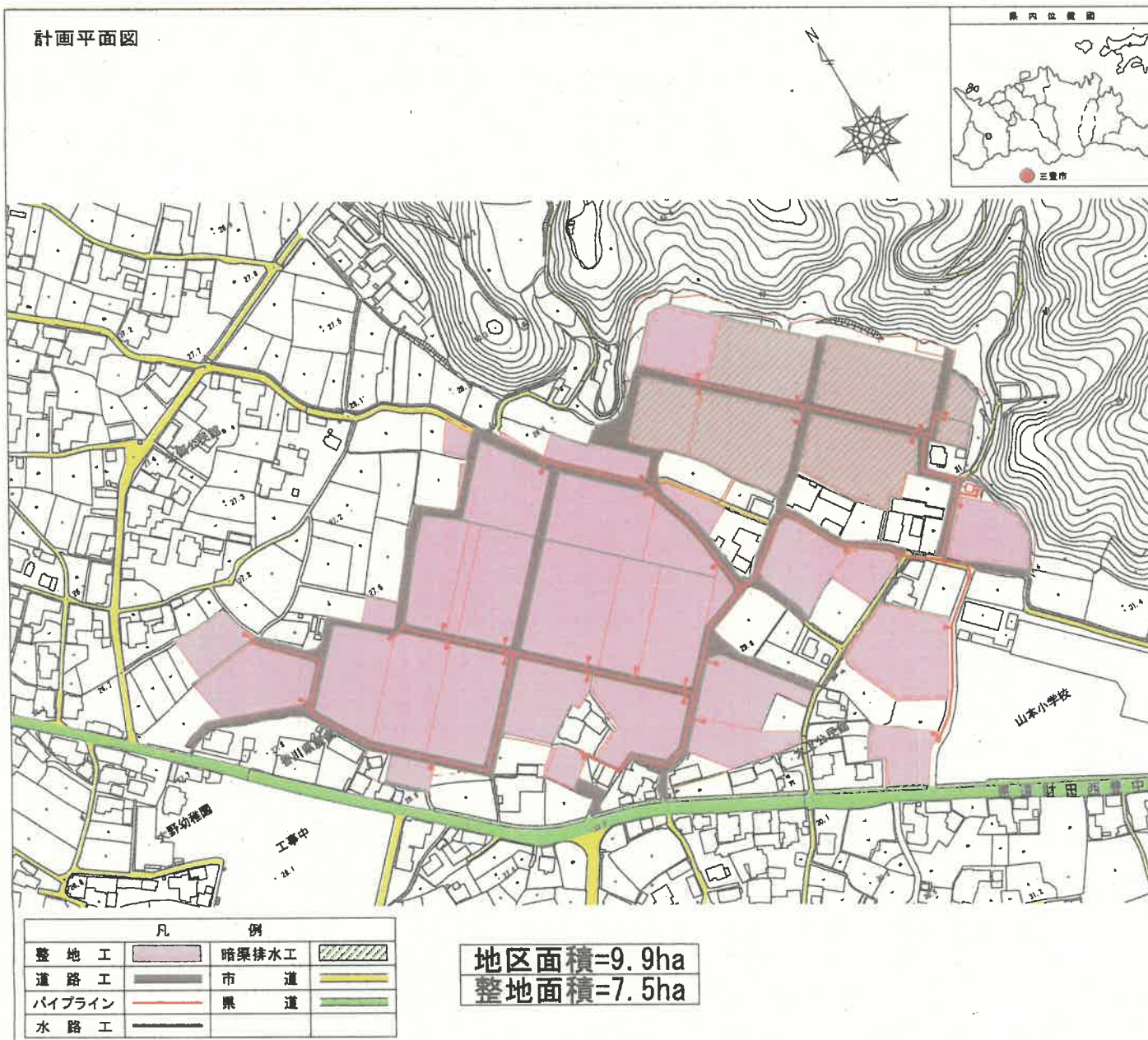
凡 例	
	土地改良法第54条の2第3項の土地(道路) 三豊市
	土地改良法第54条の2第3項の土地(市道) 三豊市
	土地改良法第54条の2第3項の土地(水渠) 三豊市
	地 産 界

工事名	農地耕作条件改善事業 次土地地区 区画整理工事
図名	計画平面図
年月日	令和 5 年 月
尺 度	S=1:1,000 図番番号
作成者	香川県土地改良事業推進委員会 (国土農ネット活用)
事業主体	三豊市山本町土地改良区

計画概要図

農地耕作条件改善事業 大上地区

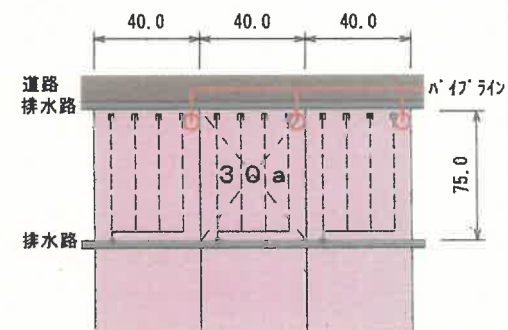
計画平面図



県内位置図



標準区画分割図



標準断面図

